

大阪は「まち」がほんまにおもしろい

# 異文化のまち・コリアタウン ～日本最古の橋から猪飼野、御幸通まで～

日本最大の在日コリアンのまち・生野コリアタウン。その原点ははるか1600年前、『日本書紀』にも登場する渡来人のまち「猪飼野」でした。猪飼野の痕跡を求めて、桃谷から御幸通、そして鶴橋国際マーケットを訪ねます。



## 1 桃谷駅

江戸、明治時代に桃畑が続いて「桃山」「桃谷」と呼ばれたことが駅名の由来です。当初は桃山駅でしたが、明治38年(1905)に伏見桃山駅と混同するので改名しました。太古の昔はこのあたりは河内湖が広がって大陸の交易船が行き交ったといわれています。桃も中国の舶来植物ですが、大陸文化の香りを感じる駅名です。

## 2 桃谷商店街

桃谷駅から疎開道路(太平洋戦争時に爆撃の延焼を防ぐために建物を疎開して作られた道路)まで続きます。創業50年以上を誇るイカ焼き発祥店「桃谷いかやき屋」など下町風情が満載の商店街として親しまれています。途中で交差する猫間川筋の猫間川(現在は暗渠化)は「高麗川」が訛ったものという説があります。

## 3 つるのはし跡

『日本書紀』の仁徳天皇14年の条に「猪甘津に橋わたす。すなわちその処を号けて小橋という」(為橋が猪甘津即号其処曰小橋也)と記されていますが、これが文献上、日本最古の橋です。湿地帯の河内湖はよくツルが飛来したので、いつしか「つるのはし」と呼ばれました。江戸時代の猪飼野村明細帳には「全長20間(36.4メートル)幅7尺5寸(2.3メートル)の板橋」と記載されていますが、大正12年(1923)に現平野川が開削され、昭和15年(1940)に旧平野川が埋め立てられて廃橋となりました。「しのぶれど人はそれぞれと 御津の浦に 渡り初めにし みかい津の橋」という小野小町の歌碑があります。

## 4 猪飼野保存会

もとは猪飼野若中会と称しましたが、昭和48年(1973)の住居表示施行によって猪飼野の地名が消滅するので、由緒ある地名や史跡・地車などの文化を伝承しようと改称しました。猪飼野の地名は猪飼野新橋や猪飼野橋停留所など、いくつか残されています。

## 5 平野街道道標

「右 八尾 久宝寺 信貴山」「左 大阪」と刻まれています。「慶応二年丙寅二月建之鐘講」とあるので幕末で騒然としていた慶応2年(1866)に建てられたものとわかります。信貴山の毘沙門天は「寅年寅月寅日に出現した」という伝承がありますが、「丙寅」年に道標が建てられたのは、そういった時代背景や信仰の影響が感じられます。

## 6 木村権右衛門家屋敷跡・ご神木

「猪飼野から生駒の山すまで他人の土地を踏まずに行けた」という富豪・木村権右衛門邸宅跡です。戯作者・太田南畝(蜀山人)の『葦の若葉』(享和元年・1801年刊)には「橋(つるのはし)の向かいに屋高く作れる家見ゆ。何がしの守の御苑にやと問うに、権右衛門といえる農夫の家なるよし。素封の類なるべし」とあります。現在は駐車場ですが、樹齢400年の椎の木のご神木と、立派な石灯籠、庭石が残されています。木村家は木村重成(大坂夏の陣で討死。享年23歳)の姉婿・猪飼野左馬助の子孫で、ご神木は重成公のお手植えと伝えられています。

## 7 大東邸

笠屋儀兵衛と称した大東家のお屋敷で、かつての猪飼野村の面影を偲ばせる貴重な存在です。とくに土蔵の外壁材は古い船板を使って風格があります。大東邸の北向かいにも木村姓の旧家がありましたが立ち退いて、現在では桃谷南公園になっています。

## 8 鶴栖山 安泉寺

鶴栖山(鶴の栖む山)という山号の浄土真宗寺院で猪飼野村の総氏寺です。創建不詳(江戸初期?)ですが代々のご住職の苗字は「猪甘」といいます。大正14年(1925)に本堂を改築して、竜宮城を思わせる立派な鐘楼門を建立しました。第18代木村権右衛門(源尚敏氏)が独力で寄進したもので、大晦日になると、参拝者は鐘楼門の鐘をついて、猪飼野に年の暮れを告げます。

## 9 御幸森(みゆきのもり)天神宮

よく仁徳天皇が鷹狩りで行幸したので「御幸の森」と呼ばれ、反正元年(406)に猪飼野の人々が天皇のご神霊を祀ったことが神社のはじまりです。境内に遙拝所があって「仁徳天皇腰掛石」があります。本殿や拝殿等は登録有形文化財指定。樹齢700年を超えるムクの木も市指定保存樹林です。本殿の東側に「難波津(なにわづ)の歌」の歌碑があります。「難波津に咲くやこの花冬ごもり今を春べと咲くやこの花」-約1600年前、百済から渡来しわが国に論語や千字文(せんじもん)を伝えた「王仁(わに)博士」が仁徳天皇のご即位を祝して詠んだとされている「難波津の歌」を万葉仮名・和文・ハングルの3種類の文字で刻んでいます。

## 10 御幸通商店街

日本最大のコリアタウン。キムチやチヂミなどの定番韓国グルメ、色鮮やかなチマ・チョゴリ専門店、豚足や豚頭も並ぶ精肉店など、約120の店舗があって3分の2が在日コリアン経営の店舗です。大正11年(1922)に大阪・築港～済州島に定期船「君が代丸」が就航したことで済州島出身者が多く、韓国伝統の帽子(モジャ)をかぶる済州島の守り神「トルハルバン」(石製の爺さん)が置かれている店も見られます。



## 11 班家(ばんが)食工房

韓国文化を五感で感じる体験型パビリオン。無料休憩スペースがあるほか食材や雑貨のおみやげコーナー、李朝時代、17世紀頃の韓国を再現したチマチョゴリの展示、試着(有料)が可能です。キムチの手作り体験(要予約)やハングルを学ぶ一日体験講座、韓国舞踊、テコンドーなどの文化教室など、多種多様なイベントを行っています。

## 12 猪飼野新橋

昭和62年(1987)に平野川改修時に掛け替えられ、「猪飼野の歴史を伝えよう」と、親柱は仁徳天皇に因んで前方後円墳、支柱は勾玉を模しています。14個の丸板には「為橋が猪甘津号其処曰小橋也」と、『日本書紀』の一節が記されています。

## 13 流れる千年

平成19年(2007)11月にオープンした韓茶カフェ。1階は朝鮮王朝時代の民具などが置かれた韓国伝統文化博物館や、時代を経ても色褪せない美しい韓国雑貨などの販売コーナー、2階は韓茶&韓スイーツ、韓流プレートランチなどが楽しめます。約1000年前の高麗王朝時代から続く伝統酒の醸造法を本場・韓国で学んだ料理研究家、洪貞淑(ホンジョンスク)さんが、約2年の歳月をかけて完成した幻の天然韓酒「四香酒」(サヒャンジュ)は絶品! オススメです。

## 14 弥栄(やえ)神社

文禄年間(1592～1596)に出雲の熊野坐神社(現在の松江市・熊野大社)より勧請しました。社殿は熊野大社の原寸を計って、それを縮尺して建設した大社造です。長く牛頭天王社として素戔嗚尊が祀られていましたが、明治43年(1910)に旧・岡村の御館神社(現・弥栄神社お旅所ご祭神・仁徳天皇)を合祀しました。御館神社は仁徳天皇の御弓場(的殿)跡地と伝えられています。

## 15 鶴橋商店街ほか

桃谷商店街、御幸通商店街と並んで「いくのトライアングルタウン」の一角を形成しています。焼肉店が多く、夜は焼肉の匂いと煙が充満しますが、「鶴橋駅周辺のにぎわい」として環境省の「かおり風景100選」に選ばれています。韓国民族衣装や雑貨などを扱う店も多く、エキゾチックな雰囲気があります。まち歩きあとは美味しいアジアン・グルメに舌鼓を打ちましょう!

【注意事項】この地図は「大阪あそ歩」のまち歩き資料として作成されました。まち歩きには、歩きやすい服装と靴を着用してください。車などによく注意し、各自で責任をもって行動してください。また、住宅地では住民のプライバシーに十分配慮して歩きましょう。  
【お問い合わせ】大阪コミュニティ・ツーリズム推進連絡協議会「大阪あそ歩」事務局 電話06-6282-5930(財団法人大阪観光コンベンション協会内) 「大阪あそ歩」の詳しいプログラムはホームページをご覧ください。http://www.osaka-asobo.jp または「大阪あそ歩」でネット検索を。

大阪あそ歩のコースは約2~3km、2~3時間程度を基準として作成されています。